

# 第5編

啓発



# 令和元年 参議院議員通常選挙臨時啓発事業実績

## 1. 啓発の目的

投票日の周知と投票への総参加を呼びかけ、投票率の向上を図った。

特に、若い世代を中心に、幅広い世代に投票率向上の効果が期待できる啓発事業に重点的に取り組んだ。

## 2. 事業内容

### (1) ポスターの掲示

総務省作成のポスターを、県、市町、公共施設、主要官公署・事業所、JR等に掲示した。

《掲示枚数》	県選管(地方書記室含む)	8, 277枚
	市町選管	6, 118枚
	合計	14, 395枚

### (2) 啓発ステッカー、中吊りポスターの掲示

JR、路面電車、バス、タクシー車内及びバスターミナルに投票日周知のためのステッカー及び中吊りポスターを掲示し、投票日の周知と投票総参加を呼びかけた。

《掲示枚数》	・ステッカー	タクシー	3, 350枚、
		バスターミナル(長崎、諫早、大村)	120枚
	・中吊りポスター	JR	100枚
		路面電車	110枚
		バス	240枚

### (3) 新聞広告による啓発

5紙(長崎、西日本、読売、毎日、朝日)の広告欄に啓発広告(全2段)を投票日前日に掲載した。<掲載日 7月20日(土曜日) 朝刊>

### (4) コンビニエンスストアレジ広告

コンビニエンスストア(ローソン112店舗及びファミリーマート152店舗)のストアレジ画面広告を活用した選挙啓発を実施した。

### (5) SNS(インスタグラム等)の広告による啓発 ※参議選初

SNS(インスタグラム(写真や動画の共有サービス))に広告を配信し、若年層(18歳~34歳)に向けて投票日の周知と投票総参加を呼びかけた。

<内容>	表示期間	令和元年7月14日(日)~7月20日(土)
	表示回数	134, 509回

#### (6) 県広報ラジオ番組による啓発

県広報ラジオ番組等において、投票日の周知と投票総参加を呼びかけた。

- 《内 容》 ・NBCラジオ「県庁タイムス」  
7月8日(月)～12日(金)、15日(月)～19日(金)  
・FM長崎「Saturday Chat Box」  
7月13日(土曜日)、7月20日(土曜日)

#### (7) 新聞広報によるお知らせ

新聞の県広報欄(長崎新聞と西日本新聞の「県からのお知らせ」)において投票日の周知を行った。

<掲載日 7月11日(木曜日)朝刊、7月18日(木曜日)朝刊>

#### (8) 広報車による巡回

啓発用の録音テープ、ボディパネルを作成し、広報車などを巡回させ、投票日の周知と投票総参加を呼びかけた。

#### (9) 長崎県が運営するアプリによる啓発 ※参議選初

県が運営しているアプリを登録している方に対して、選挙に関する情報を発信し、投票日の周知と投票総参加を呼びかけた。

- 《内 容》 ・ふるさと情報発信アプリ「このさき長崎」  
(現在の県内の様子や出来事など随時お届けするアプリ)  
・ながさき子育て応援アプリ「ココロンアプリ」  
(県内の子育てに関するイベント・施設・制度等を調べられるアプリ)

#### (10) 商店街等での横断幕・懸垂幕の設置

商店街等に啓発横断幕・懸垂幕・タペストリを設置し、投票日の周知と投票総参加を呼びかけた。

- ・横断幕…県庁
- ・懸垂幕…長崎市浜の町アーケード
- ・タペストリ…夢彩都内に5箇所

#### (11) 電光掲示板による啓発

電光掲示板を使用し、投票日の周知と投票の総参加を呼びかけた。

- 《内 容》 ・近畿産業信用組合長崎支店(大波止電停前)  
・大村競艇場、佐世保競輪場  
・県営バス長崎・諫早ターミナル ※参議選初  
・長崎バス新地ターミナル、ココウォークバスセンター ※参議選初  
・ピースパーク(遊技場)浜の町店、目覚店、葉山店  
※目覚店、葉山店は、全選挙を通じて初

## (12) 啓発ポスター移動展

選挙啓発ポスター移動展を開催し、投票日の周知と投票総参加を呼びかけた。

《開催箇所》 7月1日（月曜日）～7月5日（金曜日） 諫早市役所1階ホール  
7月14日（日曜日）～7月21日（日曜日） 壱岐の島ホール

## (13) 啓発パレード・街頭啓発

県内各ブロックにおいてイベントやパレードを開催し、啓発物資を配布しながら投票日の周知と投票総参加を呼びかけた。

### 《長崎地区》

7月15日（月・祝） 13：00～ 浜の町アーケードで選挙啓発パレード  
(県明推協、市明推協、おたくさの会、市選管、長崎女子商業高校バトン部、ロマン長崎、大学生サポーター)

7月18日（木） 17：30～ 鐵橋で街頭啓発

7月19日（金） 17：00～ 夢彩都で街頭啓発

7月20日（土） 11：00～ 鐵橋で街頭啓発

### 《県北地区》

7月13日（土） 11：00～ 三ヶ町・四ヶ町アーケードで街頭啓発パレード

### 《島原地区》

7月6日（土） 14：00～ イオン有家店、イオン島原店、Aコープ愛野店で街頭啓発

### 《五島地区》

7月7日（日） 11：00～ 浦桑ショッピングプラザで街頭啓発

7月12日（金） 16：00～ エレナ福江店で街頭啓発

7月17日（水） 16：00～ シティモールで街頭啓発

### 《壱岐地区》

7月13日（土） 9：00～ ポプラ勝本店前で街頭啓発

10：00～ イオン壱岐店前で街頭啓発

11：20～ マリンパル壱岐前で街頭啓発

13：15～ スーパーバリューイチヤマ本店前で街頭啓発  
スーパーヤマグチ前で街頭啓発

### 《対馬地区》

7月14日（日） 10：00～ 対馬市交流センター、タケスエ大浦店、サイキ美津島、サイキ豊玉、ハートランド、おきつプチショップで街頭啓発

※啓発物資作成数 ポケットティッシュ 34,685個  
紙団扇 16,335個  
風船 5,080個

\*ポケットティッシュ、紙団扇、風船に今回製作のご当地めいすいくんをカラー印刷(風船は1色)

#### (14) インターネットホームページ

県のホームページに参議院選挙の情報（過去の投票率や選挙結果等を含む）を掲載し、選挙への関心を高めるとともに、投票総参加を呼びかけた。また、投票日当日は投開票速報を掲載した。

#### (15) ツイッター

ツイッターを利用して選挙啓発情報を随時発信した。  
7月4日以降、25回ツイート

#### (16) 県が運営するメールマガジンによる啓発 ※参議選初

県が運営している各種メールマガジンに登録している方に対して、選挙に関する情報をメールにて配信した。

##### 【Nなび】

県内企業や求人・イベントなどの情報を提供するサイト。  
サイトの登録者（現役の学生や求職者）6,000人程度に配信。

##### 【ながさきボランぽネット】

県内のNPO・ボランティアを応援するサイト。  
サイトの登録者1,100人程度に配信。

##### 【産業労働部メルマガ】

県内企業に支援情報等を提供する。登録者1,100人程度に配信。

#### (17) NTTドコモ・ソフトバンクお知らせメール

NTTドコモ及びソフトバンク携帯端末利用の県内18歳～39歳の方に対し投票日前日（7月21日）に選挙期日周知のメールを送信した。

（内容）	NTTドコモ	36,664通
	ソフトバンク	20,000通

#### (18) 県内企業への啓発チラシの配布 ※参議選初

県内に本・支店がある企業約300社に対して啓発チラシを配布した。

#### (19) 大学学食テーブル等へのミニのぼり設置

県内全大学の協力を得て、選挙期間中に営業を行っている大学の学食テーブル等にミニのぼりを設置し、投票日の周知と投票総参加を呼びかけた。

併せて、選挙啓発ポスターの学内掲示を依頼した。

《数量等》 11大学 291本配置

**(20) 大学構内における啓発** ※全選挙を通じて初

県内の大学構内で、明るい選挙推進サポーター(大学生等)、市選管等と協力し、投票日の周知と投票総参加を呼びかけた。

《実施大学》 長崎大学(7月17日)、長崎県立大学佐世保校(7月10日)、長崎ウエスレヤン大学(7月9日)

**(21) ご当地「めいすいくん」の作成** ※全選挙を通じて初

明るい選挙推進サポーター(大学生等)が作成した、ご当地「めいすいくん」を啓発物資等に掲載した。

**(22) 県営バス車内におけるサポーター啓発アナウンス** ※全選挙を通じて初

明るい選挙推進サポーター(大学生等)による啓発アナウンスを、県営バス車内で放送した。

《実施箇所》 長崎、諫早、大村

**(23) 地方書記室による啓発**

各地方書記室(各振興局管内)において、独自に企画立案した啓発を行った。

(県北地方書記室)

- ・ 告示日から投票日までの期間、県北管内(佐世保市、平戸市、松浦市、東彼杵郡、離島を除いた北松浦郡)において公用車による巡回啓発を実施した。
- ・ 佐世保市の三ヶ町・四ヶ町アーケードにおいて、県北地方書記室、佐世保市選挙管理委員会、明るい選挙佐世保市推進協議会、佐世保観光大使とともに物資の配布を行った。
- ・ 県北振興局庁舎に告示日から投票日までの期間、横断幕を設置した。
- ・ 告示日から投票日までの期間、西肥バスの車体を使い側面広告を行った。また、車内運転席背面スペースに啓発ポスターを掲出した。
- ・ 松浦鉄道の各駅に投票日周知のポスターを掲示した。また、車内中吊りポスターの掲示を行った。
- ・ 佐世保市内で65,000部発行されているタウン情報誌「ライフさせぼ」(毎週金曜日発行)へ広告掲載を行った。
- ・ 管内の主要官公庁及び県地方機関、銀行等の民間事業者に対し、ポスターの掲示を依頼した。
- ・ 振興局庁舎入り口において、啓発のぼりを掲出した。また、街頭啓発イベント時にも活用した。

(島原地方書記室)

- ・ 管内大型商業店舗入口付近などにおいて、啓発物資を配布しながら投票参加を呼びかけた。
- ・ 島原振興局庁舎に告示日から投票日までの期間、懸垂幕を設置した。

- ・島原新聞に選挙啓発広告を掲載した。
  - ・庁舎、公共施設、スーパー等にポスター掲示した。
  - ・FM ラジオにおいて、選挙啓発の内容を放送した。(告示日から投票日まで)
  - ・振興局公用車から啓発テープを流し、半島内を巡回した。(7月16日(火)~7月19日(金)の4日間)
- (五島地方書記室)
- ・五島振興局庁舎、上五島支所庁舎に横断幕を掲示し、投票日の周知・投票参加を呼びかけた。
  - ・庁舎、公用車、公共施設、スーパー等の管内主要箇所にポスター・マグネットを掲示した。(県選管から送付されたものを使用)

(壱岐地方書記室)

- ・立看板、垂れ紙、のぼりを県関係機関や島内商業施設に設置した。
- ・振興局公用車により啓発テープを流し、島内を巡回した。
- ・地元紙へ啓発内容の掲載を依頼した。(島内2社に3回)
- ・学生利用者の多い路線バスの車内にポスターを掲示した。(公示から投票日まで)
- ・壱岐 FM ラジオで投票を呼びかけるCMを放送した。
- ・壱岐の島ホール(中ホール前ホワイエ)で選挙ポスター展を開催した。
- ・各種団体へ投票を呼びかける書記長訪問や、ポスター配布を行った。
- ・壱岐ケーブルテレビに出演し、投票参加等を呼びかけた。
- ・振興局職員により、各課主催会議の際に投票参加など呼びかけた。
- ・職員及び来局者に対し、投票参加のための振興局庁内放送を行った。(1日2回)

(対馬地方書記室)

- ・島内の各集落を広報車で巡回し、啓発を行った。
- 令和元年 7月4日(木)~7月21日(日)
- ・管内官公庁及び大型量販店等において、店内放送、ポスター掲示、チラシや啓発品の配布により、選挙参加を呼びかけるよう協力を依頼した。
  - ・対馬振興局の庁内放送により不在者投票の活用を含め、投票参加を呼びかけた。
  - ・統一フレーズのロゴ入り横断幕を掲げることにより啓発を行った。
- 設置場所：対馬振興局長屋門前
- ・ガソリンスタンド等へ啓発品を配置し、給油時に啓発品を配布することにより全島民への啓発を図った。

**(24) 県内諸団体(機関)へ啓発協力依頼**

県内主要団体・機関・事業所に対し、職員・従業員の投票総参加と投票日の周知について協力依頼を行った。

デパート、スーパー、大学等に対し、ポスターの掲示と店内(学内)放送を依頼した。



## (25) 県内の高校学校及び小中学校と連携した選挙啓発

### 【高等学校に下記を依頼】

- ① 学校敷地内における選挙啓発ポスターを掲示した。
- ② 3年生生徒へ選挙啓発リーフレットを配布した。
- ③ 保護者あてに投票参加の依頼文書を送付した。
- ④ 校内放送による選挙啓発を依頼した。

### 【小中学校に下記を依頼】

- ① 保護者へのお知らせ  
(内容) 保護者の方が投票所で投票する際に、生徒(児童)の同伴が可能です。
- ② 生徒(児童)へのお知らせ  
(内容) 保護者の方と投票所へ行って、投票の様子を見ることができます。

## (26) その他

- ① 県選管職員の期日前投票をプレスリリース
- ② 県庁市内放送(1日1回)による周知を図った。
- ③ ポータルサイト「お知らせ欄」での周知を図った。
- ④ 県庁ロビーにのぼりを掲出した。
- ⑤ 県庁内の来庁者用テーブル(1階~3階)及び食堂、生協にミニのぼりを設置した。
- ⑥ 啓発物資(ティッシュ、風船、うちわ)を総合窓口カウンター、食堂に設置した。
- ⑦ 県庁1階大型ビジョン及び8階デジタルサイネージ、エレベーター前ビジョンで啓発CMを放映した。

